

神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審 議 会 等 名 称	令和7年度 第1回みどり支援学校運営協議会		
開 催 日 時	令和7年5月 28 日(水)10:00～12:00		
開 催 場 所	みどり支援学校 会議室		
出 席 者	神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会委員10名(本校校長を含む) 神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会事務局教職員 10 名(1名欠席)		
次 回 開 催 予 定 日	令和7年 10 月 29 日(水)		
問 合 わ せ 先	みどり支援学校 副校長 堀野 史雄 電話 045-471-7941 Fax 番号 045-474-4707		
下 欄 に 掲 載 す る も の	議事録	議 事 概 要 と し た 理 由	
審議(会議)経過	<p>審議(会議)事項</p> <p>(1)学校長挨拶 ・今日は御多用の中ありがとうございます。新年度が始まり約 2 か月が経ちました。教員、児童生徒共に、新しい生活に慣れてきたところです。5 月に入り修学旅行があり、来週は実習や体育祭等の行事が始まるそうです。今年度の学校運営協議会は 2 名の方に新しく委員に入ってください、ありがたく存じます。今年度は4年間の学校教育計画のうち2年目の取り組みとなります。委員の皆様のご意見をいただきながら、この学校をより良いものにしていきたいと考えています。よろしくお願いします。</p> <p>(2)委員委嘱・委任及び会長・副会長選出 ・各委員、事務局自己紹介 ・規則に基づき名執委員が会長、林委員が副会長に選出された。</p> <p>(3)みどり支援学校 学校運営協議会について ・コミュニティ・スクールの手引きを基に学校運営協議会、2つの部会について確認した。</p> <p>(4)学校教育計画(令和6年度～令和9年度)について(副校長より) ・グランドデザインを作成した経緯として、令和5年度に全職員で目指す学校、育てたい子ども像を検討して作り上げた。分かりやすい言葉でまとめている。中心の校章のまわりに育てたい子ども像があり、それを囲むように育成するための視点、4年後の姿を目指した実際の取り組みを記載している。 ・年間の目標と達成に向けた主な方策では2つ変更を行った。1つめは「3 進路指導・支援」のキャリア教育の視点について子どもの実態に応じた、原点に戻った取り組みをしようと見直しを図った。2つめは「5 学校管理・学校運営」に Teams を活用した働き方改革について追記した。この追記については4年間のロードマップにも反映させている。</p> <p>【質疑応答・承認】 ●働き方改革の指針について説明が欲しい。 ○長時間勤務の是正、ウェルビーイングの向上という2つの目標がある。 ●教員の業務は多岐に渡る中、それを限られた時間でこなす、ひとり一人に丁寧に向き合うという大変さが思いやられる。メンタル面への懸念がある。 ●今日登校風景を見たが、人数の過密さが変わらずにある。その中子どもたちは落ち着いて登校している。先生方の工夫に感心した。 ●開校時から学校の様子を見ていた。以前は先生方の助けになればと給食室の清掃を週2回火曜、金曜に行っていた。東本郷小学校、みどり支援学校は地域の中に自然に在り続けている。防災についても、給水タンクのある小学校から支援学校に運ぶ訓練をしていた。東本郷地域の中でみどり支援学校の存在は大きい。防災についても連携をしていきたい。 ○2年前まで就労継続 B 型の施設長を担っていた。学校での生徒への支援の在り方を知ることができることは大変ありがたい。</p> <p>⇒学校教育計画について変更点も含めて承認する。</p> <p>3. 令和7年度の目標設定や方策について(学校評価部会も併せて行う) ・ロードマップ、マトリクスを基に今年度の取り組みについて説明。</p>		

審議(会議)経過	<p>①教育課程・学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(中学部)今年度より新書式となった年間指導計画を運用し、目標や育む力を明確にした授業実践の共有、検証を学部会で行う。また、教科としての目標を立てやすい教育課程編成表を作成する。学部教員で共通理解したのち他校の資料を参考に作成する。</li> <li>・(教務企画)昨年度教科を意識した4つの教科について学部を超えてその狙いや系統性を検討した。今年度は10教科に増やして行う。</li> </ul> <p>②児童・生徒指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(分教室)キャリアアセスメントシート2年目の取り組み。働く力の育成につなげると共に個別支援教育計画にも反映させて確かな学びに結び付ける。一人一台端末の活用方法を本校に発信する。</li> <li>・(教務企画)授業改善の視点で授業を見合い、対話や意見交換を行う。チームティーチングのチーム内でお互いの視点を伝えあい、授業を振り返り改善につなげる。話し合いながら指導案を作成する研修も行う。</li> </ul> <p>【①②について意見交換・質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●授業改善について、多忙の中どう時間の設定を行うのか？</li> <li>・(教務企画)研究チーム主体となり夏休みに研修会を開催したのち、学部単位で研究の時間を使って検討を行っていく。</li> <li>●学校全体での取り組みは大変な作業と思われるが、授業を見合う営みがない限り授業改善はできない。教員同士が研鑽し合う、悩みを共有するといったお互い関わる取組みが大切。生の声で意見交換しているそのものが授業改善と考える。そういう場面を大切にしたい。</li> <li>・(教務企画)まず対話して授業の良かったところの振り返り、今後のより良い取り組みを検討していく取り組みを大切にしたい。</li> <li>●働き方改革はその時間を確保するために進められると良い。</li> <li>●若い先生は「ここが良かったよ」という言葉かけでも気持ちが落ちてしまうことがある。良い、悪い、こうした方が良いという評価より振り返りの共有に留めていくことが必要。</li> <li>●保護者は先生同士がコミュニケーションを取れているかが話題に上ることが多い。共有できているか、会話しているか保護者はよく見ている。</li> </ul> <p>③進路指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内実習について内容等の整理、本人の自己理解につながる実習評価表の検討を行う。</li> <li>・(支援連携)実習評価表の見直し、進路に関する研修会の実施。年度末の進路報告会において校内で共有する。</li> <li>●校内実習は高等部のみ行うのか？</li> <li>・(高等部)高等部のみ行う。3年生は3週間、2年生は2週間を年間2回。1年生は1回2週間行う。その期間授業は行わず実習のみ行う。</li> </ul> <p>【③について意見交換・質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特例子会社を始めとした障害者雇用企業は積極的に雇用を進めている。内部の評価も大切にしながら、校外での体験も大切にしていきたい。企業へのチャレンジは経験として生きてくる。気づき、今後の糧にもつながる。社会に出るという視点も持っていただきたい。</li> <li>●評価表にはまる生徒はそう難しくないのではないか。生徒の実態、個性が異なる中、評価表にはまらない生徒をどうするかの視点は大切。校内で進路のノウハウを蓄積すると良いのでは。学校の大きな力になる。</li> <li>●標準から外れるというだけではなく、それをどう支援するかを大切にほしい。</li> <li>●高校を卒業して一生懸命働く姿は勇気づけられる。通常の高校生は大学全入時代となっている。18歳～22歳は人生を豊かにする時期。支援学校の生徒たちは高校卒業後仕事をする人が多いが、働くという面だけではなく、どう人生を豊かにするかも併せて考えたい。</li> <li>●何のために働くのか、「楽しむ」ことのバランスを取っていくことが大切。</li> <li>●働くことを通して認めてもらう、役に立った、感謝されるという生きる励みとして実感できるのは「働く」ということと考える。</li> </ul> <p>④地域等との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(支援連携)HP上に教材紹介のページを作成した。この内容を今年度充実させる。HPの更新が誰でもできるよう研修すると共に教材展示会を開催する。進路に関する研修会を地域に向けても公開する。</li> <li>・(小学部)東本郷小学校との学校間交流を行っている。双方向との交流として良い経験だった。今年度はより互いの児童が学びを得られるよう事前の進め方、時期、活動内容の検討を両校で丁寧に行いたい。</li> </ul> <p>【④について意見交換・質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●HPは誰に見てもらうことを想定しているか？見てもらうための宣伝活動も必要では。</li> <li>・(支援連携)指導で悩んでいる地域の小中学校等の先生方や保護者の方に見てほしい。各会</li> </ul>
----------	---

	<p>議の場でも発信していきたい。</p> <p>●学校間交流は何のためにやるのか、双方の学びになっているのかをしっかりと話し合ってから両校で共有してから進めてほしい。おしなべてやろうとすると薄くなる。繰り返し経験する学びも大切。確かな深い学びになるように。</p> <p>⑤学校管理 学校運営</p> <p>・(教育推進)防災について、現実の災害を想定した見直しを行う。まずは初期対応が円滑に行えるようにする。また、各マニュアルの見直し、みどり防災デーの実施に向けて取り組んでいく。今年度新たに引き渡し訓練を実施する。事前準備をしっかりと行い円滑に進めたい。</p> <p>・(管理運営)会計について、年度初めの購入物品は前年度の繰越金若しくは PTA からの借入金で賄っている。そのため転入転出があると非常に手続きが煩雑になる。今年度は単年度締めめの会計運用を目指して段階的に進めていく。また、Teams について掲示板やチャットの活用と情報量、ファイルの整理を行い効率的な活用を目指す。</p> <p>【⑤について意見交換・質疑応答】</p> <p>●ぜひ地域と協働して進めていただきたい。以前の協働を復活させたい。</p> <p>●防災宿泊訓練は実施するのか？</p> <p>・(高等部)業務の精選の視点から今年度以降の開催は見合わせている。</p> <p>●Teams の活用についてイメージがわからない。Teams はツールであるので、業務の整理をしっかりとできるように。</p> <p>・(校長)Teams のファイル整理が全校視点になっていない課題がある。情報に迅速にたどり着けるようにしたい。今年度は校内の情報の整理を重点に行い、次年度からの校務支援システムの導入に備える。</p> <p>●業務の整理を行うとき、通常は全業務を洗い出し、マストから順に残していく。その過程で、必要だがマストではないという業務は絶対に捨ててはいけな。学校全体で共通理解しながら方向性を明確にして進めてほしい。</p> <p>・(副校長)現状それを整理している状況。大切なもの、削るものが視覚化されるようにしていく。</p> <p>・(校長)そこも含めて意識の醸成という言葉を入れている。必要、不必要のコンセンサスを取りながら改革を進めていきたい。</p> <p>●会計は保護者の負担になる面があるのか？</p> <p>●負担はない。</p> <p>⇒今年度の取り組みについて承認を得た。</p>
会 議 資 料	<p>①令和7年度第1回次第(本紙)</p> <p>②令和7年度神奈川県立みどり支援学校運営協議会運営要項</p> <p>③神奈川県学校運営協議会設置規則</p> <p>④神奈川県立学校運営協議会運営等に関する要綱</p> <p>⑤学校教育計画(令和6年度～令和9年度)</p> <p>⑥みどり支援学校ランドデザイン、学校経営方針</p> <p>⑦みどり支援学校4年間の目標達成のためのロードマップ</p> <p>⑧令和7年度みどり支援学校 学校評価目標設定</p> <p>⑨学校目標達成に向けたマトリクス</p> <p>⑩令和7年度みどり支援学校 学校評価目標設定(各グループ・学部)</p>